

東京外かく環状道路（関越～東名） 環境モニタリング調査（大気質・粉じん等）の結果について（お知らせ）

中央 JCT・東八道路 IC（仮称）周辺 大気質・粉じん等調査

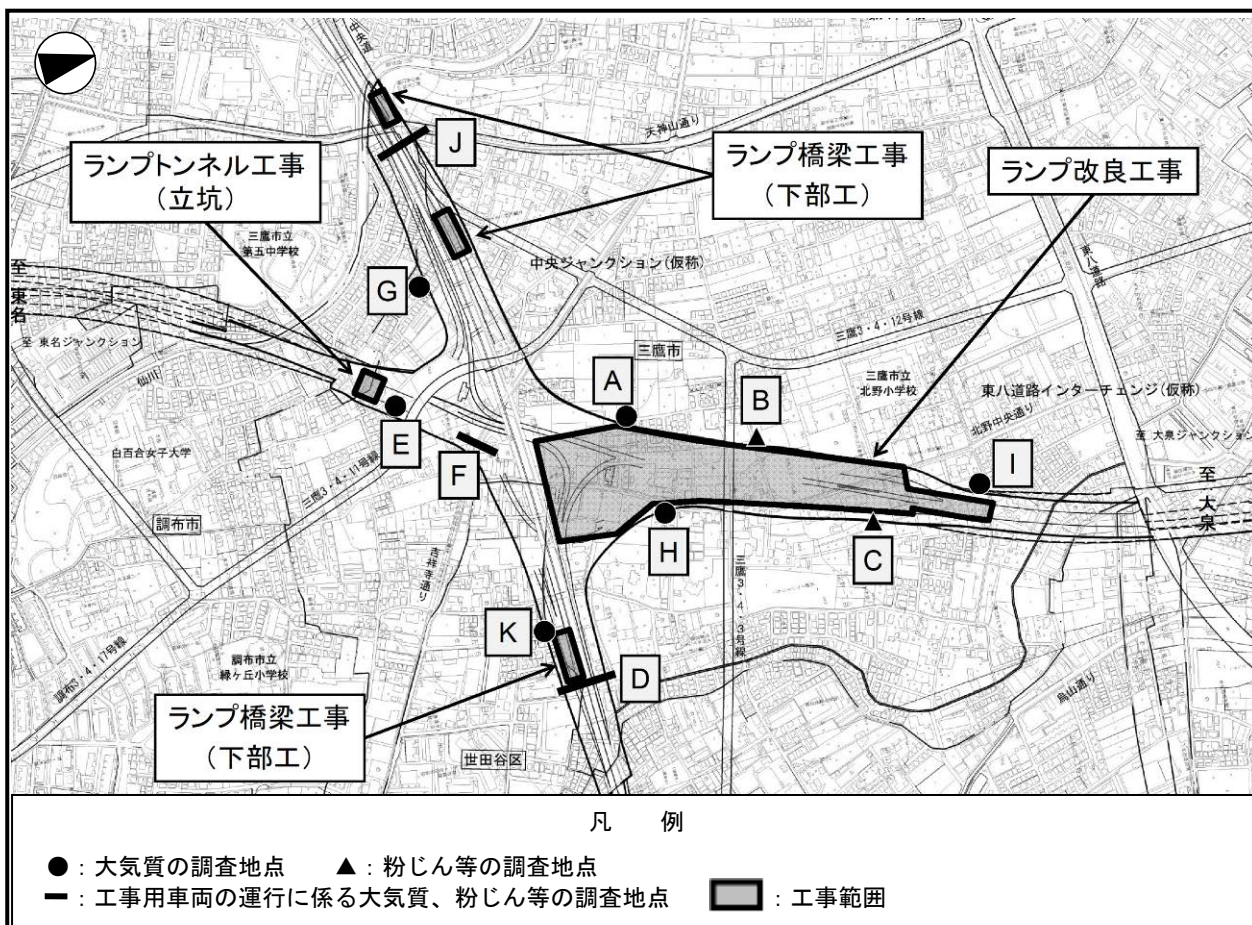
春季（令和3年3月～令和3年5月）に実施した大気質調査の結果についてお知らせします。

◆調査期間

春季

- 大気質：令和3年4月9日（金）～4月15日（木）（7日間）
 令和3年4月12日（月）～4月18日（日）（7日間）
 令和3年4月13日（火）～4月19日（月）（7日間）
 令和3年4月14日（水）～4月20日（火）（7日間）
 令和3年4月20日（火）～4月26日（月）（7日間）
 令和3年5月13日（木）～5月19日（水）（7日間）
- 粉じん等：令和3年4月1日（木）～5月1日（土）（1ヶ月間）
 令和3年5月1日（土）～5月31日（月）（1ヶ月間）

◆調査位置図



◆問い合わせ

担当窓口：国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所 計画課
 電話番号：0120-34-1491（外環専用フリーダイヤル 平日9：15～18：00）

◆調査結果

○建設機械の稼働に係る大気質【二酸化窒素（NO₂）、浮遊粒子状物質（SPM）】

- 二酸化窒素（NO₂）については、いずれも環境基準を下回る結果となっています。
- 浮遊粒子状物質（SPM）については、1日平均値、1時間値ともにいずれも環境基準を下回る結果となっています。

調査時期	調査日	A			調査日	E		
		NO ₂ (ppm)	SPM (mg/m ³)			NO ₂ (ppm)	SPM (mg/m ³)	
		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値
春季	4月20日	0.017	0.024	0.035	4月13日	0.010	0.013	0.022
	4月21日	0.008	0.025	0.041	4月14日	0.011	0.012	0.021
	4月22日	0.007	0.020	0.033	4月15日	0.009	0.013	0.020
	4月23日	0.010	0.020	0.028	4月16日	0.015	0.018	0.026
	4月24日	0.009	0.016	0.031	4月17日	0.013	0.018	0.026
	4月25日	0.007	0.021	0.030	4月18日	0.005	0.013	0.024
	4月26日	0.005	0.016	0.036	4月19日	0.011	0.021	0.034
	期間内平均	0.009	0.020	—	期間内平均	0.011	0.015	—

調査時期	調査日	H		
		NO ₂ (ppm)	SPM (mg/m ³)	
		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値
春季	4月9日	0.009	0.016	0.027
	4月10日	0.006	0.012	0.025
	4月11日	0.009	0.015	0.024
	4月12日	0.013	0.017	0.028
	4月13日	0.014	0.014	0.022
	4月14日	0.010	0.012	0.029
	4月15日	0.009	0.013	0.025
	期間内平均	0.010	0.014	—

※ 調査地点 G、I、K の周辺では、3月～5月は工事が行われなかったため、調査を実施していません。

○工事用車両の運行に係る大気質【二酸化窒素（NO₂）、浮遊粒子状物質（SPM）】

- 二酸化窒素（NO₂）については、いずれも環境基準を下回る結果となっています。
- 浮遊粒子状物質（SPM）については、1日平均値、1時間値ともにいずれも環境基準を下回る結果となっています。

調査時期	調査日	D			調査日	F		
		NO ₂ (ppm)	SPM (mg/m ³)			NO ₂ (ppm)	SPM (mg/m ³)	
		1日平均値	1日平均値	1時間値の最大値		1日平均値	1日平均値	1時間値の最大値
春季	4月14日	0.011	0.006	0.018	4月12日	0.017	0.016	0.036
	4月15日	0.011	0.002	0.011	4月13日	0.017	0.014	0.042
	4月16日	0.016	0.009	0.017	4月14日	0.015	0.011	0.030
	4月17日	0.014	0.008	0.017	4月15日	0.014	0.014	0.026
	4月18日	0.005	0.004	0.017	4月16日	0.019	0.017	0.036
	4月19日	0.012	0.013	0.037	4月17日	0.016	0.015	0.028
	4月20日	0.016	0.014	0.026	4月18日	0.006	0.013	0.031
	期間内平均	0.012	0.008	—	期間内平均	0.015	0.014	—

調査時期	調査日	J		
		NO ₂ (ppm)	SPM (mg/m ³)	
		1日平均値	1日平均値	1時間値の最大値
春季	5月13日	0.013	0.014	0.027
	5月14日	0.013	0.018	0.032
	5月15日	0.011	0.017	0.024
	5月16日	0.004	0.015	0.021
	5月17日	0.006	0.015	0.034
	5月18日	0.016	0.019	0.038
	5月19日	0.019	0.014	0.028
	期間内平均	0.012	0.016	—

参考

◆環境基準

二酸化窒素：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

浮遊粒子状物質：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20 mg/m³以下であること。

※環境基準との評価は、『道路環境影響評価の技術手法』に基づいて、1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、低い方から数えて98%目（若しくは高い方から数えて2%目）にあたる値を環境基準と比較することにより行います。

○建設機械の稼働に係る粉じん等

- 粉じん等（降下ばいじん量）については、いずれも参考値を下回る結果となっています。

	調査時期	B	C
降下ばいじん量 (t/km ² /月)	春季	2.8	4.0

○工事用車両の運行に係る粉じん等

- 粉じん等（降下ばいじん量）については、いずれも参考値を下回る結果となっています。

	調査時期	D	F	J
降下ばいじん量 (t/km ² /月)	春季	4.2	7.5	3.1

参 考

◆環境基準

降下ばいじん量に環境基準はありません。

◆参考値

降下ばいじん量：20t/km²/月以下

※環境を保全する上での降下ばいじん量は、スパイクタイヤ粉じんにおける生活環境の保全が必要な地域の指標*を参考とした 20t/km²/月が目安と考えられます。（「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版）」より引用）

なお、計測されるばいじん量は建設機械以外から発生するものも含まれるため、環境影響評価では、上記基準を達成するよう、建設機械の稼働の寄与分を 10t/km²/月以下とするよう評価を行っています。

*「スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律の施行について」（平成2年1月3日、環大自第84号）